学校教育目標　「進んで学ぶ子・心の豊かな子・明るく元気な子」

狭山小だより

「誰からも信頼される、明るく元気な学校」

令和６年度
第５号
８月２６日発行
児童数３５７名
TEL　04(2934)2077

あきらめない。大丈夫。絶対にうまくいく。

最後まであきらめず、粘り強く…。結果はついてくる。

校　長　　田島　浩

８月

９月

３７日間の夏休みが終わりました。この夏は宮崎県で震度６弱の地震により気象庁から発表された「南海トラフ地震臨時情報」や、日本選手のメダルラッシュにわいた「パリ2024オリンピック」、優勝候補とされる学校が相次いで敗れ、京都国際高校が春夏通じて初優勝で終わった「第106回全国高校野球選手権大会」、台風７号の関東接近など、いろいろなことがありました。100年ぶりにパリで開催されたオリンピックや、誕生から100年を迎えた甲子園球場などのニュースにより、歴史の積み重ねを感じることもできました。

今日から８２日間の第２学期が始まりました。**２学期も落ち着いた生活の中で学力の向上を図り、様々な行事を通して一人一人の成長を見守っていきます。**

さて、2021年の東京オリンピックから３年、舞台をフランスに移したパリオリンピックで、日本選手の笑顔や涙は多くの人々の記憶に刻まれました。私は「体操男子団体」の金メダルが、とても心に残りました。あん馬でエースの橋本大輝選手が痛恨の落下をして天を仰いでいたときに、主将の萱選手が**「あきらめるな！絶対にいける。」**と声を張り上げて鼓舞していました。最終種目で中国の選手が２度も落下し、日本は奇跡的な逆転優勝＝「金メダル」を手にしました。失敗を目の当たりにした中国選手は全員が頭を抱えていましたが、日本選手は**「あきらめるな、大丈夫、絶対にいけるから。」**と皆が顔を上げ、互いに励まし合う姿に感動しました。

あきらめてしまうことは簡単である。そんなことはいつでもできる。しかしながら、あきらめてしまえば、それで事は終わりである。だから私はあきらめなかった。

松下幸之助の「人を生かす経営（1979）」に、この言葉**「あきらめたらおしまい」**があります。苦しい場面や避けたい場面が、学校生活の中にも必ずあります。しかし、絶対にうまくいくと信じ、あきらめずに前を向くことを子供たちに伝えていきます。そして何よりも私自身が常にこのことを心がけ、子供たちのために全力を尽くして参ります。

７・８月の学校生活

８・９月の生活目標「あいさつ・返事をしよう。」

【１学期終業式のあとの、児童代表の言葉】７月１９日（金）

４年の小池葵菜さんは、「学習の大事さを知った」という題で、自分の考えを発表できるようになったことや、夏休みはたくさん読書することを伝えてくれました。６年の横山創己さんは、「１学期に頑張ったこと、そして２学期へ」という題で、学び合いを頑張ったりリーダーとして挑戦したりしたこと、さらに運動会に向けて頑張ることを力強く発表しました。二人ともとても立派な内容でした。

【３校合同研修会】７月２９日（月）

武蔵中学校や宮寺小学校、狭山小学校の教員が、合同研修会を行いました。昨年に引き続き、元茅ヶ崎市教育委員会教育長の　谷井　茂久　先生をお招きし、「学び合い」について講演していただきました。そして３校の教員が６つのグループを作り、それぞれの学校の取組について情報共有しました。３校で足並みをそろえて、武蔵中学校区を盛り上げていきます。

【ふるさとの夏まつり】８月３日（土）

アリットを会場にして行われた夏まつりは、昨年以上に大勢が集まり、とても活気にあふれていました。２回も出番があった「よさこいソーラン」ですが、練習の成果もあり子供たちは力強く踊っていました。今年はＰＴＡのブースで、冷たい飲み物やおもちゃ、バザーに提供していただいた商品を売ることができました。

＜校内人事について＞

○退職

○休職

狭山小学校のHPにある「校長のひとり言」を再開しました。

ほぼ毎日更新し、子供たちの学校生活の様子をわかりやすくお伝えしています。お時間のある時にご覧ください。

狭山小HP